

「鳥取市 Smile 月間」における取組

鳥取市立宝木小学校

1. 保護者・地域を対象とした取組について

○家庭学習や読書の習慣化、定着を図る「宝の子勉強がんばり週間」を実施

6月16日(火)～22日(月)

家庭学習や読書の習慣化を図るため、「宝の子勉強が
んばり週間」を実施しました。期間中、児童が基本的な
生活習慣や学習習慣を身につけられるよう保護者に声か
けをお願いしました。また、起床就寝時刻、勉強の開始
時刻、メディアの利用時間の約束を親子で確認し、カー
ドに毎日チェックをして提出してもらうことで学校と家
庭との連携を図りました。



から
こ
から

宝の子勉強がんばり週間

(月)



① 勉強の時間【 分】 ② 勉強の時間【 分】

③ 勉強の時間【 分】 ④ 勉強の時間【 分】

⑤ メディアの時間【 分】 ⑥ 睡眠【 分】

★勉強時間のめあて

1・2年 - 60分以上
3・4年 - 45分以上
5・6年 - 60分以上

日/曜日	16日(土)	17日(日)	18日(水)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	合計
学習の時間	分	分	分	分	分	分	分	分
読書の時間	分	分	分	分	分	分	分	分
合計時間	分	分	分	分	分	分	分	分
おまけ-ねる								おねる○ おねる△×
学習記録								

⑦ 学習者の名前

⑧ 学習の場所

2. 児童を対象とした取組み

○児童会主体の集会（なかよし集会）の実施 6月30日（火）

委員会が中心となり、なかよし班（縦割り班）での集会を行いました。全校が仲良く楽しむことを目的とし、代表委員会で話し合って活動内容を決めました。集会では、縦割り班ごとにドッジボールやしっぽとりを楽しみ、仲を深めることができました。



○いじめ実態把握アンケート(友だちアンケート)の実施

毎月、友だちアンケートを実施し、児童の些細な変化や SOS を早期に発見し、いじめの未然防止に取り組んでいます。結果を踏まえ、職員間で共通理解を図ったり、SC 等の支援機関との連携を図ったりしています。

3. その他

○ハートウィーク（校内相談）の実施 6月29日（月）～7月3日（金）

児童が相談したいこと、気になっていることなどを職員に相談する期間を設けています。全校児童を対象に相談したいことや相談したい教職員について希望調査をとり、相談活動を行いました。悩みを抱える児童が一人で抱え込まず、安心して相談できる環境を整え、いじめの未然防止に努めています。

「鳥取市 Smile 月間」(いじめ防止強調月間)の瑞穂小学校の取り組みについて

- (1) **花壇・プランター花植え**・・・全校縦割り班活動のフレンドグループで協力して、花壇とプランターの花植えを行った。「人権の花」運動 贈呈式もあり、意識を高めるきっかけとなった。



- (2) **教育相談週間**……6月 8 日(月)～12(金)に児童アンケートをもとに児童と個別に話をし、学習や生活について、友達関係や家庭の様子などを聞き取り、いじめ等の早期発見と児童理解を行った。

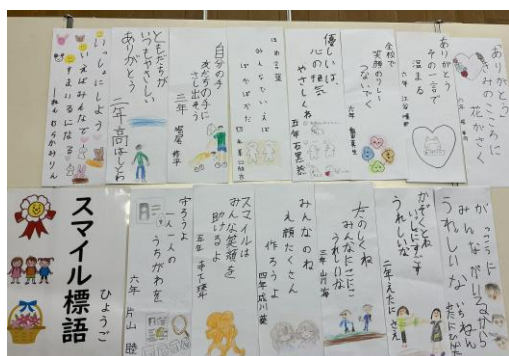
- (3) **参観日(研修会)**・・・6月18日(木)人権教育参観日、PTA 人権教育研修会(人権教育プログラムファシリテーター派遣事業)を実施。テーマ『タイトルを決めるのはあなた』



6年『ロレンゾの友達』

～本当の友達としての在り方を多面的に考える～』

- (4) **スマイル標語(社会を明るくする標語)**・・・全校児童がスマイル標語を作成し職員室前に掲示し、「社会を明るくする標語コンテスト」に応募。



- (5) **スマイルの木**…… 運営委員会が中心となって準備を行い、廊下にスマイルの木を掲示し、全校児童が友達の良かったところ、がんばっているところ等をスマイルの葉(画用紙)に書いてスマイルの木に貼っていった。お昼の放送で毎日紹介して、互いを認め合ったり、よいところを知ったりする時間とした。

- (6) あいさつの取り組み・・・朝のあいさつを頑張っている人の紹介を昼の放送で毎日行っている。
- (7) みずほっこ会議・・・話し合い会議の後、ほめほめじゃんけんをしたり、各学年のよいところみつけを発表し合ったりした。



- (8) 人権に関する図書の紹介・・・Smile 月間に合わせて、学校司書が人権に関連した本を紹介。
子どもたちに手に取ってもらい、様々な視点から考えるきっかけとした。



鳥取市 Smile 月間における取組について

鳥取市立浜村小学校

○各学級の取り組み

- ・担任が朝の会等で、スマイル月間についての説明をする。
 - ・道徳や学級活動等で相手の気持ちを考え、誰もが安心して過ごすことのできる学級・学校づくりへの意識を高めるように指導する。
- ※いじめは絶対に許さないという強い気持ちをもって、「いじめない」だけでなく、「見て見ぬふりをしない」ことの大切さも伝える。

○児童会の取り組み

運営委員会

【笑顔あふれる浜村小学校】にするための取り組み

①ありがとうの木プロジェクト

- ・各学級に木のイラストが描かれた画用紙を配布。
- ・友だち、先生、地域の方に「ありがとう」を言われたらシールを貼り、ありがとうの木を完成させていく。
- ・シールは2種類あり、とっておきのありがとうを言われたときは赤、ありがとうを言われたときは黄色を貼る。



「ありがとうの木」を通して、子どもたちが友だちの良さや親切な行動に目を向ける姿が増えました。また、「ありがとう」を伝える場面が増え、学校全体に温かい雰囲気が広がりました。シールが増えて木が育っていく様子を見て、自分から行動しようとする意識の高まりにもつながりました。



燃えろ！ ぞうきんがけ ソレー

6/24(水)
昼休み

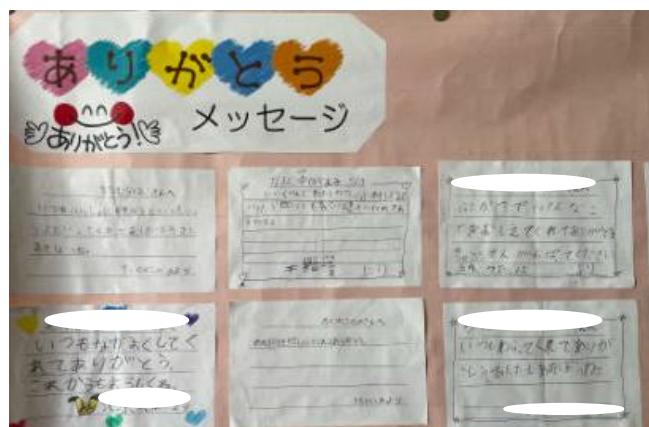
参加してみませんか!!
1～6年生まで全校で参加OKです!
たのしく一生けん命ぞうきんがけを
しましょう!
この記録は
「鳥取県遊びの王様ランキング」
にとりこみますー!
運営委員会

②燃えろ!ぞうきんがけリレー! 6月24日(水)休憩時間

- ・1年生から6年生まで全校が参加できる。
- ・5人組を作ってチーム名を決めて参加する。
- ・タイムを記録し、運営委員会が記録を集計する。
- ・1位のチームは、放送で全校に紹介し、鳥取県の王様ランキングに登録する。



子どもたちは仲間と声を掛け合いながら協力して活動する子どもたちの姿が見られました。また、あきらめずに最後まで取り組む粘り強さや、友だちを応援する思いやりの気持ちも生まれました。体を動かす楽しさを味わうとともに、仲間意識や一体感を高める活動になりました。



広報委員会

【友達のよいところを見つけよう】ありがとうメッセージ

友達の良いところを見つけてカードに記入したものを、広報委員会が昼の放送で全校に紹介し、そのカードを放送室前に掲示しました。書いた児童も、メッセージをもらった児童も、どちらも笑顔になっていました。

鳥取市 Smile 月間

令和 8 年度気高中学校の取り組みについて

気高中学校では、5月26日（月）～5月29日（金）の給食時間の放送で、学級目標発表を行った。各学級の代表者がクラスの目標や、全員で大切にしたいことを発表した。発表中は全員が発表者の話を聞き、発表後には大きな拍手が沸き起こった。各学級の発表内容は後日生徒会新聞に掲載した。

生徒会新聞 学級目標紹介

1 年 AE 組『PUZZLE』

1 年 A 組は、パズルという学級目標にしました。

考動、整学、協伸を中心に埋めていく、失敗しても何度でもやり直せる、33 人で、一つ一つパズルを埋めてゆくという意味があります。

パズルのピースのように少しずつ埋めてゆくよう成長していきましょう、33 人みんなの力で完成できるように頑張しましょう。



1 年 BF 組『SPARKLE!』

1 年 B 組の学級目標は、「SPARKLE!」(スパークル!)です。「SPARKLE!」には、一人一人の個性を活かして、みんなで輝いていきたいという意味が込められています。

この学級目標に向けて、クラスみんなで目指す 1B の姿は、大きく分けて 3 つあります。1 つ目は、友情関係です。クラス全員で仲良くし、絶対に誰かを 1 人にしません。2 つ目は、生活面です。あった人には、明るく大きな声であいさつをすることを目指します。3 つ目は、学習面です。真剣に授業に取り組み、全員が必ず課題を出します。

この 3 つの点を心掛けて、クラスの一人一人を全員が大切にし、みんなで輝いていくクラスを目指します。



3 年 AE 組『ツバサ広げる #We can do it!』



私たち 3AE の学級目標は、「ツバサ広げる #We can do it!」です。

この目標には、私たち 3AE が「15 の春」を笑顔で迎えられるようにという意味が込められています。

「ツバサ広げる」という言葉には、自分の可能性を信じて、大きく成長していくという意味があります。鳥は翼を広げることで空へ飛び立つことができます。私たちも同じように、失敗を恐れずに挑戦し、自分の力を少しずつ伸ばしていきたいと考えました。

中学校生活最後の一年は、楽しいことだけではなく、勉強や進路、部活動、人間関係など、たくさんの壁に出会うと思います。時には不安になったり、自信をなくしたりすることもあるかもしれません。しかし、そんな時でも、一人で悩むのではなく、仲間と支え合いながら前に進んでいきたいです。

また、「We can do it!」という英語には、「私たちならできる」という強い思いが込められています。「I can do it!」ではなく、「We」にしたのは、クラス全員で協力しながら成長したいという願いがあるからです。一人では難しいことでも、仲間と力を合わせれば乗り越えられることがたくさんあります。

さらに、この目標には、「自分らしく羽ばたく」という意味もあります。人にはそれぞれ得意なことや個性があります。勉強が得意な人、人を笑顔にするのが得意な人、スポーツを頑張っている人、周りを支えるのが上手な人など、本当にさまざまです。だからこそ、お互いの良さを認め合い、一人ひとりが安心して自分を表現できるクラスにしたいと思っています。

この一年間、笑顔あふれる毎日を過ごしながら、仲間との絆を深め、3AE 全員で成長していきたいです。そして卒業する時に、「このクラスでよかった」「みんなと出会えてよかった」と心から思えるような最高のクラスをつくります。

私たち 3AE は、「ツバサ広げる #We can do it!」という目標のもと、一人ひとりが未来へ向かって力強く羽ばたいていきます。

そして、どんなことにも挑戦し、支え合いながら、最高の一年にしていきたいです。